

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1005	(H.22)No.	1005
-----------	------	-----------	------

事務事業名		市史編さん事業	
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
総務部	総務室(市史編さん担当)	松山 正次	64-2249
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 14 年度 ~ 平成 30 年度	名張市史編さん委員会設置要綱	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	3	市民文化の創造
	施策	2	文化資源
	小施策	4	市史の編さん
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分	事業コード	023001
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	総務費	市史編さん事業
項	総務管理費	(小事業名)
目	市史編さん費	市史編さん事業

3. 事務事業の概要

事業概要
・「名張市史」の編さん・刊行及び歴史資料の収集・整理・保存を行う。

めざす効果(事業目的)
市史の編さんは、市内に関する貴重な史料や文化遺産の散逸を防ぎ、これらを整理保存して後世の人々に伝える意義を持っている。市民が「温故知新」の精神による郷土に対する愛着を育み、新たな文化創造のまちづくりをめざします。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)		平成23年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)		
					平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費] < H21繰越分より > ・市史編さん事業 編集業務委託 1,897千円 < H22現年分 > ・名張市史「資料編古代」編集 ・市史啓発事業の開催 ・市史だより第6号の発行 ・資料室に書棚設置 ・マイクロフィルムリーダープリンタ購入 委員報償費 1,173千円 旅費 5千円 需用費 457千円 委託料 500千円 備品購入費 3,370千円		[事業内容(事業量)・事業費] ・名張市史「資料編古代」編集・刊行 ・歴史資料調査・整理 ・市史啓発事業の開催 ・市史だより第7号の発行 委員報償費 2,026千円 旅費 24千円 需用費 94千円 委託料 935千円		市が直接実施 業務委託(全部・一部)により実施 指定管理 補助金・交付金 その他 ()		
直接事業費	(1,897千円)	5,505千円	3,079千円		3,080千円	5,000千円	6,000千円
財源内訳(千円)							
国庫支出金							
県支出金							
地方債							
その他()		594	251		100	100	250
一般財源	(1,897)	4,911	2,828		2,980	4,900	5,750
人工数							
職員		2.00人	2.00人		2.00人	2.00人	2.00人
臨時職員等							
概算人件費	(0千円)	14,600千円	14,600千円		14,600千円	14,600千円	14,600千円
+ 総事業費	(1,897千円)	20,105千円	17,679千円		17,680千円	19,600千円	20,600千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24	
成果指標	目標	名張の歴史を知っている市民の割合(歴史テスト認知率)	%	-	-	-	-	42.0
	実績			38.4	32.6	33.7		
	目標							
	実績							
	目標							
	実績							
考察及び今後の対応方針								

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
総合計画の小施策を担当する「総務部」総務室市史編さん担当と総合施策を担当する「教育委員会」との組織体制にかかる調整が必要であり、限られた人材の中で、専門知識を有する人材の活用と確保に努めていくことが重要である。	・安易な期間延長はすべきではない。 ・販売収入を得るためのマーケティング戦略が必要である。

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)(へ)	協働等の主な相手先について
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について 市が直接実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 検討の余地がある	関連業務における専門知識を活用する。
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 検討の余地がある	啓発事業を展開することにより、編さん事業への理解と協力を高める。

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(事務改善)	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など 人材確保の手段として、業務補助員を緊急雇用創出事業の位置付けで取り組んだ。	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 史料の調査・収集に関連する専門知識を有する人材の育成と確保。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1165	(H.22)No.	1165
-----------	------	-----------	------

事務事業名	美旗古墳群緊急除草作業(緊急雇用創出事業)		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
教育委員会事務局	文化生涯学習室文化担当	門田了三	63-7892
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 21 年度 ~ 平成 23 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	3	市民文化の創造
	施策	2	文化資源
	小施策	2	文化資源の整備・活用
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	503801
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	教育費	美旗古墳群緊急除草事業(緊急雇用創出事業)
項	社会教育費	(小事業名)
目	文化振興費	美旗古墳群緊急除草事業(緊急雇用創出事業)

3. 事務事業の概要

事業概要
国史跡美旗古墳群周辺公有地の適切な管理を行うため、除草作業を実施します。

めざす効果(事業目的)
国史跡美旗古墳群周辺公有地の適切な管理を行うことと、雇用創出を目的としています。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費] 委託料 7,350千円	[事業内容(事業量)・事業費] 委託料 3,150千円	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
			補助金・交付金		
			その他 ()		
			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
直接事業費	7,350千円	3,150千円	0千円	0千円	0千円
財源内訳(千円)					
国庫支出金					
県支出金	7,350	3,150			
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 0	0	0	0	0
人工数					
職員	0.20人	0.10人	0.00人	0.00人	0.00人
臨時職員等					
概算人件費	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
+ 総事業費	7,350千円	3,150千円	0千円	0千円	0千円

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標 実績	新規雇用人員	人		4	4	
成果指標	目標 実績	名張の歴史を知っている市民の割合	%	- 38.4	- 32.6	- 33.7	-
考察及び今後の対応方針		快適な環境を維持する役立った。					

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)(へ)	協働等の主な相手先について
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について 市が直接実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 検討の余地がある	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 平成23年度事業完了予定	特記事項
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など 県支出金による緊急雇用事業であり、雇用の促進とともに美旗古墳群の有効活用を図る。	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 緊急雇用事業は23年度で終了するため、新たな財源確保が必要である。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1167	(H.22)No.	1167
-----------	------	-----------	------

事務事業名		埋蔵文化財発掘調査事業			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
教育委員会事務局		文化生涯学習室文化担当		門田了三	63-7892
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	11年度～	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	3	市民文化の創造
	施策	2	文化資源
	小施策	1	文化財の保護・調査研究
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分		事業コード	504001
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	教育費	埋蔵文化財発掘調査事業	
項	社会教育費	(小事業名)	
目	文化振興費	埋蔵文化財発掘調査事業	

3. 事務事業の概要

事業概要	
開発事業に伴う、埋蔵文化財の発掘調査事業。	

めざす効果(事業目的)	
教育委員会の所管事務である埋蔵文化財の調査は、営利事業の場合は事業者が費用負担を求められることができます。その際にスムーズに調査に着手できるように組まれた、歳入、歳出同額の事業予算です。	

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)			
	[事業内容(事業量)・事業費] 需用費 90千円 委託料 29千円 使用料 645千円	[事業内容(事業量)・事業費] 共済費 3千円 賃金 580千円 旅費 12千円 需用費 231千円 役務費 24千円 委託料 1,460千円 使用料 690千円	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	
主な事業の実績・計画			補助金・交付金	その他 ()		
			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	
			共済費 3千円 賃金 580千円 旅費 12千円 需用費 231千円 役務費 24千円 委託料 1,460千円 使用料 690千円	共済費 3千円 賃金 580千円 旅費 12千円 需用費 231千円 役務費 24千円 委託料 1,460千円 使用料 690千円	共済費 3千円 賃金 580千円 旅費 12千円 需用費 231千円 役務費 24千円 委託料 1,460千円 使用料 690千円	
直接事業費	764千円	3,000千円	3,000千円	3,000千円	3,000千円	
財源内訳 (千円)	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他()	764	3,000	3,000	3,000	3,000
一般財源	(0)	0	0	0	0	
人工数	職員	0.06人	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人
	臨時職員等					
概算人件費	(0千円) 438千円	730千円	730千円	730千円	730千円	
+ 総事業費	(0千円) 1,202千円	3,730千円	3,730千円	3,730千円	3,730千円	

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	発掘調査箇所数					
	実績		0	1	0		
成果指標	目標	名張の歴史を知っている市民の割合	%	-	-	-	-
	実績		38.4	32.6	33.7		
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)(へ)	協働等の主な相手先について
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について 市が直接実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 検討の余地がある	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 検討の余地がある	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行)	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など	
文化財の発掘調査は教育委員会の事務であり、また財源を事業者に求めているため。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1175	(H.22)No.	
-----------	------	-----------	--

事務事業名 市史史料整理事業(緊急雇用創出事業)			
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
総務部	総務室(市史編さん担当)	松山 正次	64-2249
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 23年度 ~ 平成 23年度	名張市史編さん委員会設置要綱	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	3	市民文化の創造
	施策	2	文化資源
	小施策	4	市史の編さん
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	023001
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 総務費	市史史料整理事業(緊急雇用創出事業)	
項 総務管理費	(小事業名)	
目 市史編さん費	市史史料整理事業	

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>・「名張市史」の編さん準備における新たな史料の発見と整理を行う。</p> <p>(緊急雇用創出事業)</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>市内の貴重な史料や文化遺産の散逸を防ぎ、これらを整理保存して後世の人々に伝える。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画		史料の借用と整理 ・借用史料の搬出、清掃等 ・史料のカード記録 ・史料の整理、箱詰 ・マイクロフィルムに撮影 ・PC入力とデータベースの作成 ・目録の作成 ・史料の返却 ・史料本の作成 共済費 232千円 賃金 1,591千円 (緊急雇用創出事業)	補助金・交付金	その他 ()	
			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
			(未定)	(未定)	(未定)
直接事業費		1,823千円			
財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	県支出金		1,823		
	地方債				
	その他()				
一般財源	(0) 0	0	0	0	0
人工数	職員				
	臨時職員等		1.00人		
概算人件費	(0千円) 0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
+ 総事業費	(0千円) 0千円	1,823千円	0千円	0千円	0千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	%	-	-	-	-	42.0
	実績		38.4	32.6	33.7		
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
生活様式の変化や諸般の要因により、所蔵されていた貴重な史料が急速に喪失、散逸されているなかで、少しでも多くの史料を救済する。	・収集してきた史料を一般に開放できる場所を整備してほしい。

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄(工夫・改善等を記載)
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)(へ)	協働等の主な相手先について	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について 市が直接実施	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある		
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 検討の余地がある		関連業務における専門知識を活用する。
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である		
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 検討の余地がある		啓発事業を展開することにより、編さん事業への理解と協力を高める。

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(事務改善)	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など 市史史料整理事業を予算化し、人材確保の手段として、業務補助員を緊急雇用創出事業の位置付けで取り組んだ。	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 人材の確保。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1191	(H.22)No.	
-----------	------	-----------	--

事務事業名	美旗古墳群試掘調査事業(緊急雇用創出事業)		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
教育委員会事務局	文化生涯学習室文化担当	門田了三	63-7892
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 23 年度 ~ 平成 23 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	3	市民文化の創造
	施策	2	文化資源
	小施策	2	文化資源の整備・活用
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	503901
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	教育費	美旗古墳群試掘調査事業(緊急雇用創出事業)
項	社会教育費	(小事業名)
目	文化振興費	美旗古墳群試掘調査事業(緊急雇用創出事業)

3. 事務事業の概要

事業概要
国史跡美旗古墳群の整備に先立ち、基礎資料を得るために試掘調査を実施します。

めざす効果(事業目的)
国史跡美旗古墳群の活用を図るため調査を行うことと、離職者の新たな雇用創出を目的としています。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費] 委託料 2,100千円	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
			補助金・交付金	その他 ()	
			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
直接事業費		2,100千円	0千円	0千円	0千円
財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	県支出金	2,100			
	地方債				
	その他()				
一般財源	(0) 0	0	0	0	0
人工数	職員	0.10人	0.00人	0.00人	0.00人
	臨時職員等				
概算人件費	(0千円) 0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
+ 総事業費	(0千円) 0千円	2,100千円	0千円	0千円	0千円

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標 実績	新規雇用人員	人		4	4	
成果指標	目標 実績	名張の歴史を知っている市民の割合	%	- 38.4	- 32.6	- 33.7	-
	目標 実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)(へ)	協働等の主な相手先について
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について 市が直接実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 検討の余地がある	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 平成23年度事業完了予定	特記事項
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など 県支出金による緊急雇用事業であり、雇用の促進とともに美旗古墳群の有効活用を図る。	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 緊急雇用事業は23年度で終了するため、整備については新たな財源確保が必要である。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	3076	(H.22)No.	3076
-----------	------	-----------	------

事務事業名		文化財保護費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
教育委員会事務局		文化生涯学習室文化担当		門田了三	63-7892
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度～	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	3	市民文化の創造
	施策	2	文化資源
	小施策	1	文化財の保護・調査研究
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分		事業コード	503501
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	教育費	文化財保護費	
項	社会教育費	(小事業名)	
目	文化振興費	文化財保護費	

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>市域に存在し、地域を理解するうえで特に重要な文化財の保護業務。文化財調査会の開催や、市指定文化財の修復補助、文化財指定看板の作成設置、史跡の草刈り等を行っています。</p>	

めざす効果(事業目的)	
<p>新たな文化財指定や、指定文化財の維持管理を行っています。指定文化財を良好な形で後世に伝えとともに、地域のシンボルとして活用を図ります。</p>	

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	人件費 70千円 旅費 11千円 需用費 404千円 委託料 595千円 使用料 44千円 報償費 50千円 負担金 50千円	人件費 231千円 旅費 68千円 需用費 220千円 委託料 724千円 使用料 679千円 報償費 60千円 負担金 50千円	補助金・交付金	その他 ()	
			平成24年度(計画)	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)
		人件費 231千円 旅費 68千円 需用費 309千円 委託料 2,224千円 使用料 679千円 報償費 60千円 負担金 50千円	人件費 231千円 旅費 68千円 需用費 309千円 委託料 2,224千円 使用料 679千円 報償費 60千円 負担金 50千円	人件費 231千円 旅費 68千円 需用費 309千円 委託料 2,224千円 使用料 679千円 報償費 60千円 負担金 50千円	
直接事業費	1,224千円	2,032千円	3,621千円	3,621千円	3,621千円
財源内訳(千円)					
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 1,224	2,032	3,621	3,621	3,621
人工数					
職員	0.25人	0.10人	0.15人	0.15人	0.15人
臨時職員等		0.10人			
概算人件費	(0千円) 1,825千円	900千円	1,095千円	1,095千円	1,095千円
+ 総事業費	(0千円) 3,049千円	2,932千円	4,716千円	4,716千円	4,716千円

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標 実績	文化財調査会開催数	回	2	2	2	
活動指標	目標 実績	市内指定文化財数	件	75	76	76	
成果指標	目標 実績	名張の歴史を知っている市民の割合	%	- 38.4	- 32.6	- 33.7	
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
文化財の保護とともに、活用に向けての取り組みが必要です。	

7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄(工夫・改善等を記載)
協働等は実践していますか 一部実践している	協働等の主な相手先について その他団体	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 事業協力	協働等の今後の取組について 継続実施	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか できる		
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 検討の余地がある		
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある		
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 検討の余地がある		

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行)	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など 登録文化財の登録拡大に向けて、市民団体の協力を受けている。	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 他の小事業と統合し、予算の弾力的な運用を検討する。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	4055	(H.22)No.	4055
-----------	------	-----------	------

事務事業名	赤目の峡谷復旧事業		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
教育委員会事務局	文化生涯学習室文化担当	門田了三	63-7892
新・継	事業期間	根拠法令等	
	平成 22 年度 ~ 平成 22 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	3	市民文化の創造
	施策	2	文化資源
	小施策	2	文化資源の整備・活用
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	504103
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	教育費	史跡等整備事業
項	社会教育費	(小事業名)
目	文化振興費	赤目の峡谷復旧事業

3. 事務事業の概要

事業概要
平成21年台風18号により被災した国名勝赤目の峡谷の災害復旧事業。

めざす効果(事業目的)
国名勝の鑑賞機会の提供を図ります。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費] 旅費 30千円 工事請負費 7,259千円	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
			補助金・交付金	その他 ()	
			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
直接事業費	7,289千円				
財源内訳(千円)					
国庫支出金	5,098				
県支出金					
地方債					
その他()	2,191				
一般財源	(0) 0	0	0	0	0
人工数					
職員	0.20人	0.00人			
臨時職員等					
概算人件費	(0千円) 1,460千円	0千円	0千円	0千円	0千円
+ 総事業費	(0千円) 8,749千円	0千円	0千円	0千円	0千円

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	千人	-	-	-	-	-
	実績		193	177	177		
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか []	協働等の主な相手先について []
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) []	協働等の今後の取組について []
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか []	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか []	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか []	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか []	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) []	特記事項
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など []	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など []	